

天領まつり・千年あかり 本年は中止に決定

日田市は八月二十一日（金）に、本年度の「天領まつり」「千年あかり」を中止にする事を発表しました。

発表に先立ち、八月三日には「天領まつり企画会議」が、地元自治会代表や地元商店街会長や観光協会、商工会議所、旅館組合、千年あかり実行委員会などの関係者が出席して開催されました。

会議では国の「催事に関する開催制限等」の指針に基づいて開催が可能か否か検討しました。



今年の開催の可否を論議した「企画会議」

この企画会議では、コロナ感染症の拡大状況を見て、八月末までには最終結論を判断する事になりました。

その後隣の福岡県のコロナ感染症の拡大や市職員の感染発症が確認され、八月二〇日、祭りの中止を決定しました。

千年あかり実行委員会でも同日急遽役員会を開催し、「中止はやむを得ない」とし、傘下の団体に中止の緊急通達を送付しました。

なお、地元自治会で構成する豆田地区振興協議会では、「先哲慰霊祭」と「咸宜園世界遺産登録推進・小学生作文コンクール表彰式」は参加者が特定している事、三密を避ける事が可能な事から、例年通り丸山町公民館で開催する事としました。

橋本成人振興協議会会長は、「これまで日田の繁栄の基礎を作ってきた先哲の慰霊祭と小学生の発表の場である作文コンクール表彰式だけは実施して行きたい」と決意を語ってくれました。

上町お楽しみ会開催

八月四日（火）まちづくり交流館にて、豆田第一の「お楽しみ会」がコロナに負けるなを合言葉に開催されました。

会ではプリントによる間違い探し、果物の名前当て、塗り絵を行い、参加した十五名は生き生きとして楽しみました。



鯛の塗り絵に没頭する参加者

設計相談会は延期

八月二十四日に予定されていた「設計相談会」が、コロナ感染拡大の影響を考慮し延期となりました。

当日相談を予定された方については、先ず左記期間中に市に連絡して頂き日程を調整のうえ、相談会に参加して下さい。

【受付期間】九月二十三日～二十五日
【連絡先】日田市文化財保護課・町並み保存係 ☎ 二四一七七一

【相談会日程及び場所】

実施日・・・九月二十九日（火曜）
場所・・・豆田まちづくり歴史交流館

浦町六地藏尊で供養会

八月二十四日（月）上町新町に祭っている「六地藏尊」で、地藏盆に当たる八月二十四日に供養会が開催されました。

この地藏様は上町の「浦町六地藏尊保存会」が保存・管理を行っており、この日も地元住民十数名が参加し、淡窓町明王寺住職が唱えるお念仏に手を合わせて家内安全を祈っていました。

供養会終了後、明王寺吉水住職より「今年にはコロナ感染症拡大で皆さんの生活も大変と思います。疫病退散のアマビエのお札を作成しましたので玄関などに貼って下さい」と激励のメールを送っていました。



吉水住職より清めの「塗香」の施しを受ける参拝者の皆さん

配布されたお札



豆田に新たな名所が開店か！

今年の七月より、豆田上町通りの以前雨谷青果さんがあった場所で店舗の改装が行われています。

この店舗は、この十月二日より『欧風カフェバーリヒト』（オーナー永田恵嗣氏）として主にドイツのルブツ市の地ビールを提供するカフェとしてオープンする予定との事です。

豆田上町通り商店会の待鳥幸治会長は「新型コロナウイルスの影響で新しいニュースの無いなか、豆田町に出店していただけるのは大変勇気づけられます。商店街にお客様を呼ぶ新たなきっかけとなってくれたらと期待しています。」と語ってくれました。



カフェバーとして改装が進む旧雨谷青果

暑さを逆手に！かき氷半額セール

毎年全国の猛暑市ベストテンに入る日田市では、今年の八月は二十六日間三度以上の猛暑日が続きました。

特に盆明けの八月十七日より二十一日までの五日間は気温が三十八度以上となり、豆田町を歩く観光客は日陰を選びながらの散策となっていました。

この光景を見た「ひな陣屋」の中山泰伸専務は「少しでも涼しさを味わってらって、豆田を元気に散策してくれれば」と気温が三八度を上回ったその日と翌日はかき氷半額セールを打ち出しました。



「重大発表…日田市の気温が三十八度を超えた時点より翌日までかき氷半額」の看板 ※後日、日本一の日も追加

また、油屋町の「MARUSE」も最高気温日本一のときは、翌日のかき氷の追加一杯は無料の張り紙を張り出してお客様を呼び込んでいました。



今年の祇園祭の神事のみ実施

今年の祇園祭はコロナ感染症の拡大を受けて、祇園山鉾の巡行行事は駅前集団顔見世や本番の山鉾巡行などの行事が全て中止になりました。

本来祇園祭は疫病退散を願って始まった行事であることから、豆田四町の山鉾振興会では、本番最初の七月二十五日（土）に豆田八阪神社に於いて疫病退散・五穀豊穡を願う神事に参加しました。

神事では大原神社の橋本神官の祝詞奏上が行われた後、神社総代や各町の山鉾振興会の代表が玉串を奉納しました。その後祇園囃子保存会より祇園囃子の演奏が奉納されました。



豆田八阪神社では、神社総代や山鉾関係者が参加して神事が行われました。



豆田八阪神社にて祇園囃子を奉納する祇園囃子の皆さん



神官によるパイパイ「清祓式」の風景

神事の後神社境内にて、各山鉾振興会が作成したパイパイの「清祓式」が行われました。山鉾関係者は「山鉾巡行はなかったが、パイパイを家に飾り、コロナ退散のお守りにしてほしい」と話していました。